

B—96 乳児用衛生用品についての研究(第7報)
殺菌漂白剤のアンモニア産生菌に対する殺菌効果

福岡女子大 ○平松 園江
森川 義子
福岡学芸大 高木 葉子

1. 乳児のおむつは殺菌された清潔な物を使用させたい。家庭洗たくでも、保育所、乳児院、貸しおむつ等における洗たくでも殺菌が必要である。それで消毒薬を用いず、熱湯消毒の手間をとらず洗たくと殺菌漂白を同時に行なうことになるおむつ専用洗剤が市販されてきている。

その使用濃度は経済上からはできるだけ低濃度であることが望まれる。われわれは殺菌漂白をかねて用いるおむつ専用洗剤の主成分であるものと、今後用いてよかろうと思われる2剤のアンモニア産生菌に対する濃度別作用時間毎の殺菌効果を明らかにすることにした。

2. 供試菌は *Brevibacterium ammoniagenes* KTC, *Proteus vulgaris* OX 19, 培地は普通寒天培地, 供試検剤はジクロールイソシアヌル酸カリ(有効塩素57.4%を0.1, 0.01%溶液にした)次亜塩素酸ソーダ(有効塩素0.01%液)を基とし倍数希釈し, 作用時間 $20^{\circ}\text{C} \pm 2$, 菌液は生理的食塩水2ccに1白金耳菌を浮遊させたものを用い, 希釈薬剤2ccに0.2ccを注加し, 作用時間2.5, 5, 10, 15, 20分作用させこれを1白金耳とり普通寒天培地に培養し, 37°C 24時間培養後菌の生死を判定した。

3. ジクロールイソシアヌル酸カリ(57.4%有効塩素)はA菌に対し0.05%で2.5分, 0.0063%で10分, 0.003%で15分, P菌に対し0.01%で2.5分, 10分で0.0125%, 15分で0.003%以上で殺菌された。次亜塩素酸ソーダは0.01%で2.5分, 0.0025%で10分以上すればA菌は殺菌される。